

故郷〔扉の言葉〕

種田山頭火

青空文庫

家郷忘じ難しという。まことにそのとおりである。故郷はどう
てい捨てきれないものである。それを愛する人は愛する意味に於
て、それを憎む人は憎む意味に於て。

さらにまた、予言者は故郷に容れられずという諺もある。えら
い人はえらいが故に理解されない、変った者は変っているために
爪弾きされる。しかし、拒まれても嘲られても、それを捨て得な
いところに、人間性のいたましい発露がある。錦衣還郷が人情な
らば、檻樓をさげて故園の山河をさまようのもまた人情である。
近代人は故郷を失いつつある。故郷を持たない人間がふえてゆ
く。彼等の故郷は機械の間かも知れない。或はテーブルの上かも

知れない。或はまた、鬪争そのもの、享樂そのものかも知れない。しかしながら、身の故郷はいかにもあれ、私たちは心の故郷を離れてはならないと思う。

自性を徹見して本地の風光に帰入する、この境地を禪門では『歸家穩座』と形容する。ここまで到達しなければ、ほんとうの故郷、ほんとうの人間、ほんとうの自分は見出せない。

自分自身にたちかえる、ここから新らしい第一歩を踏み出さなければならぬ。そして歩み続けなければならない。

私は今、ふるさとのほとりに庵居している。とうとうかえつてきましたね——と慰められたり憐まれたりしながら、ひとりしずかに自然を觀じ人事を觀じている。余生いつまで保つかは解らな

いけれど、枯木死灰と化さないかぎり、ほんとうの故郷を欣求することは忘れていない。

（「三八九」復活第四集 昭和七年十二月十五日発行）

青空文庫情報

底本：「山頭火随筆集」講談社文芸文庫、講談社

2002（平成14）年7月10日第1刷発行

2007（平成19）年2月5日第9刷発行

初出：「三八九」復活第四集」

1932（昭和7）年12月15日発行

入力：門田裕志

校正：仙酔あびす

2008年5月19日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

故郷〔扉の言葉〕

種田山頭火

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>